

# 金浦瓦版

編集・発行：金浦区自治会

発行日：令和4年4月1日

「大変な大雪も過ぎ、春の兆しがそこここに」3月中の区内の動向で、一部を紹介します。



13日(日)「放光院護持会の総会」会長には福本辰志さんが就任。4月21日の春のお大師さんは少し縮小し、読経と護摩祈祷が行われます。



20日(日)「宝クラブ」(旧老人会)の総会に18人が参加。ウィズコロナながら「集い語らう喜びを共有しながら、途切れることなく」をモットーに活動していくことが確認されました。



下隣保の旧道沿

奥隣保のゴミステーション



17日(木)二國神社に仮設の手すりが設置されました。藤原栄さんのご好意によるものです。高い石段に難渋する人も多くありました。有り難うございます。



17日(木)大師口近辺の消雪水が特に今冬は多量に民家に流下し、その被害が懸念されていました。発注・施行関係者に「改善要望」を行い、側溝側に勾配をつけ土砂が緩まないように芝張りネットが施されました。



21日(月)区内唯一、奥隣保の「彼岸の道づくり」。職場中心の社会にあって、近隣者の交流促進と、高齢化による周辺整備等の協同作業の必要性が増しています。区内の65歳以上の高齢化率は50数%で町内でも上位です。今や先見的な試みや未来志向が問われています。

22日(火)今冬の積雪は凄まじく、除雪車の出動も頻繁で大変なご苦労に感謝しています。大型化によるデメリットもあり、側溝や石垣等の破損箇所が見られました。復旧の為の現場確認を建設課に要請しました。この日は区内数カ所を回りました。